

青大 ほけんだより

2026

新春特別企画号

2026年1月（第17号）



1月から2月初旬は、インフルエンザが最も流行する時期。青森大学では次の手順で手続きを行っています。

- ① 「インフルエンザ」と診断されて欠席する場合は、まずは電話やメール等で教務課へ連絡をする
 - ② 治癒後、「青森大学公認欠席届」を教務課から受け取り記入
 - ③ 「青森大学公認欠席届」と「根拠となる書類（診断書や調剤明細書等）」を一緒に教務課へ提出
- ～インフルエンザのほかにも公欠の対象となる疾病があります。不明な点については教務課へお問い合わせください～



青大探検 ～ 新春特別企画 知ってそうで実は良くわからない「東京キャンパス」紹介～
青大にある様々な施設や設備、そこに働く皆さんを紹介します。そして、青大生の「困った」「どうしよう」を「良かった👉」につなげるようなヒントをお知らせします。
今回は新春特別企画として、「東京キャンパス」を紹介します。



～まずは自己紹介～ 東京キャンパス 事務長 鎌田 宏哉 さん

青森県青森市出身。青森大学経営学部時代は空手道部に所属し、副主将を務めていました。4年間での成績は学連東北大会2位で全国大会では早めに切り上げて観光をしておりました。勝ち負けよりも部活の仲間から多くのものを得ることができたと感じております。それが生かされたのが一般企業に就職した時です。就職して間もない頃は、とにかく自分で仕事を見つけようと「掃除」から始めました。毎日、隅々まで丁寧に、心を込めて掃除をしました。そして、営業担当となり、大切だったのがコミュニケーション力でした。営業職という仕事は、知識は勿論、人や企業とのリレーション構築がとても重要です。最初は「〇〇社さん」と会社名で呼ばれていたのが「鎌田さん」と名前と呼ばれた時は、とても嬉しかったです。「商品を売る」という視点ではなく「何か困っていることを探す。」という気持ちで働いていました。そして、本学では、青森キャンパス、むつキャンパスを経て、現在は東京キャンパスに勤務していますが、いまは常に「学生をサポートしたい」という気持ちでいます。

～東京キャンパスについて教えてください～

東京都江戸川区の旧清新第二小学校の建物をキャンパスとしていて、学生150名（総合経営学部81名、社会学部33名、ソフトウェア情報学部36名）が在籍しています。そして留学生が多数在籍しているという特徴があります。また、今年11月には初めての試みとして「Tokyo to Aomori 学びと文化の旅」という3泊4日の企画がありました。東京キャンパス生が実際に青森キャンパスで授業を受けたり、研究室訪問や交流会、リングョ狩りを体験しました。3年次から青森キャンパスで学ぶことになる学生もいるので青森を知る良い機会でした。最後に、東京キャンパス近くには、東京ディズニーランドとディズニーシーがあり、自転車ですと約30分で夢の国に到着いたします。機会があれば東京キャンパスと併せてお立ち寄りください。

～青大生にひとこと～

- ・将来の自分の為になる活動を見つけよう（インターンシップは積極的に参加を）
- ・美味しいものを食べよう（私は焼肉です）
- ・健康を過信しない（40代になると老眼が始まります。今、健康であることに感謝を）
- ・笑って過ごしましょう（1日1回笑えるように。怒ったり感情的にならず「無」）

